

## 2014年 天溪「花のカナディアンロッキー9日間」

### 第2部 スコーキ

滞在期間中、毎日快晴、気温は高く乾燥していました、となると山火事です。カナディアンロッキーは山火事が起きても自然の力に任せ、人家などに被害が及ばない限り消化活動は行わないとの事。今年は山火事の影響か空は黄砂のような霞がかかり、透視度は今一步。(写真もかすんでいる)けれども雄大なカナディアンロッキーを楽しむことができました。



(マリンリッジの頂 7/14日)

#### ○スコーキ1日目

旅の後半はこれぞカナディアンロッキーと言える景色が広がるスコーキへハイキング。山火事の影響か何か霞気味の天候の中、パッカーズパスを登りスコーキレイクへ下るコースを選択しロッジへ。トレイル上に爪の跡も生々しい大きなクリズリーの足跡が、大自然の中とは言え熱い体が急に冷めてしまいます。



(パッカーズパス 7/13日)





○スコーキ 2日目

今日も快晴、昨夜より思案していましたが全員の足並みもそろっておりマリッジへ向うことに。距離、天候から中々稜線に立てない難所ですが、稜線からはビクトリア山、レイクルイーズ湖、マウントテンブル、10 ピークスなどが一望に見える中々な所。この度は午後1時半過ぎに到着、最高の景色を楽しんで来ました。



(マリッジ・稜線 7/14日)



○スコーキ 3日目

今日はスコーキにお別れシバンフへ。風向きのせいかやけに霞が気になります。デセプションパスを越え何となく一昨日より花の賑わいを深めたお花畑を通りターミガンレイクへ下りました。



(スコークバレー 7/15 日)



次の天溪ツアーは所をアルプスに移し7月19日発「夏のアルプス・オートルート11日間」をお届けします。

記 天溪 赤沼